

産業宣教

2 講 産業人のために教会を生かす備えを完成された (使 18:1-4)

□時代の流れを変える産業人 (使 18:1-4) - 全部、流れについて行っているの
後から流れを変えるのだ。時代を変えた産業人は神様の本当のことを味わっ
た。

[1 講] 御座、時空超越、237 の光で私の中にある神のかたち (創 1:27)、いのち
の息 (創 2:7) を生かすとき、最初のことが回復する (創 2:1-18)。1 講は恵み
で、24 器準備だ。

[2 講] 神のかたち (創 1:27) と神様がくださったいのちの息 (創 2:7) が、みこと
ばによって (ヘブ 4:12) 御座に向かうとき、時空超越、237 の答えがついてく
る。2 講は信仰で、25 器準備だ。

この事実を知る「巡礼者の道」を行くようになるのに「神様に向かう設計」に
なるべきだ (詩 19:14)。今から 25 器準備するのだ。

□序論_上の内容を味わうことができなければ来る三つ

1. Elite 1) 必ず成し遂げるという意志 2) 世の中のこともってする
3) 前だけ見て突進

2. ネフィリム 25 する人になる 3. 模様 (形) だけについて行く信徒 (福音喪失)



① 神様が御座の祝福を私に霊で与えられる

② 私は御座に向かう ③ 私は上から受けたこ
とによってすべてのことをする④すべてのこ
とがみな御座に向かうようになる⑤神様が世
界福音化の答え (時空、237 の光) をくださる

私 → ③ すべてのこと

- これを味わう祭壇 - 刻印、根、体質を変える
- これを味わう 24 祈り - すべての問題に答えを見つける (1 テサ 5:16-18)
- 25 - 「神の国のこと」を味わうようになる (使 1:3)

□本論_プリスキラ夫婦が味わった生活 (25 祈り三つ)

1. 制限された集中 (神様がくださったことが何なのか集中) - 御座の祝福

- 追放されたが、ものすごい動きが起きた
- 使 2:10 の場に出席、この恵みと力が必要 3) 隠れた経済が出てくる

2. 選択された集中 - 時空超越

- パウロとプリスキラ夫婦との出会い 2) 同じ職業と宣教
- 超越された経済が出てくる

3. ただ神様のみこころを成し遂げるワンネス集中 - 237 の光

- 神様のみこころを見つける当然
- ワンネスを成し遂げて神様のみこころを成し遂げる必然
- 神様が 237 を生かす光の経済をくださることが絶対

□結論_25 を味わうことができる集いと出会い

- 世界を動かしているネフィリム 25
- 神の国 25 を味わうべき
- 一人だけ出てきて良い

伝道学

伝道者の生活 (エペ 6:18)

エペ 6:10-20 を持って説明する。これは世の中が知らないことだ。私たちの生
活と戦いはこの戦いしかない。暗やみの存在が確かにあるので、戦いなさいと
言うのは聖書しかない。

1. 24 祈りの生活 - 答え

△24 祈りの生活ということばの中で、すべてのことに対する答えを見つける
のだ。

- 主権を動かすサタン
- 力がある人 (権威) を動かすサタン
- 多くの宗教を作り出すもろもろの悪霊
- 各種の犯罪を作り出す暗やみの世界の支配者

2. 25 祈りの生活 - 御国

△25 祈りの生活は神の国の答えが臨むのを待つことだ。

- かぶとをかぶりなさい - 救いの確信
- 胸当てをつけなさい - 平安
- 大盾 - 信仰
- 剣 - みことば
- 履き物 - 身分

3. 永遠を味わう祈りの生活 - 空前絶後

△私にだけくださった空前絶後が必ずある。

- 聖霊にあって
- いつも祈り
- 武装した戦士

核心訓練

3 講 神様は福音を持った産業人に未来を備えられた (ロマ 16:3-4)

△私のからだ、考え、心、たましい、脳、御座、現場 (7 現実) を一つにするこ
とが祈り。私の脳を生かす肉体的な呼吸、私の霊を生かす祈りの呼吸が 7 現実
の生命線

△毎日呼吸と祈りを意識 - [吸う息] 神様の霊、聖霊、力を受ける時間 [吐く息]
私の記憶にある人、近くにいる人のために神様の祝福を伝える時間

[1 講] 御座、時空、237 光が私の中に臨むべき。その祭壇を築くことが必要

[2 講] 私の中にあるたましい、すべての部分が御座に向かうこと。時空超越、
237 の答えがすべてのことに臨む

[3 講] 暗やみの世の中を征服する「征服者の祈り」に「24、25、00 の奥義」が
ある。これを知っていたプリスキラ夫婦は、ローマ福音化に参加 (ロマ
16:3-4)

奥義を成し遂げる現住所		
御座の祝福、時空超越、 237	創 1:27, 創 2:7, 創 2:1-18	世の中を生かす現場を 見るその現住所
残りの者の器準備 (24)	巡礼者の器準備 (25)	征服者の器準備 (00)

1. 世の中のこと中心に変わっていく教会 (創 3, 6, 11)

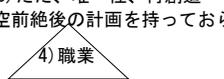
2. サタンのお使い (使 13, 16, 19) 3. ネフィリムサミット時代

□序論_神様が与えようとする空前絶後の奥義

1. 編集、設計、デザイン

- 講壇の流れ - みことば、祈り、答えの流れを握るべき
- 力の流れ - 5 力 3) ただ、唯一性、再創造

2. 1) 神様 - 空前絶後の計画を持っておられる



4) 職業

2) みことば、祈りによってだけ 3) 現場の空前絶後が見える
私の空前絶後が見える

□本論_空前絶後の現場デザイナー - ロマ 16:25-27 の中に
△世々にわたって長い間隔されていたことが、今や現されたが、私の中
にいる。とこしえまでであることに私をささげること

- 助ける人 (フィベ) 1) パウロが一番苦しみにあったときに助けた人
- 伝道者の祈りの中にいた人 3) 一番最初に名前が記録された人

2. 同労者 (プリスキラ夫婦)

- 危機の中で出会った人 2) 使命 (ロマ 16:25-27) が通じる
- ローマまで行った

3. 家主 (ガイオ)

- すべての伝道者の経費担当 2) チーム構成 (23 節)
- ユダヤ人が簡単に触ることができなかった人物

□結論_空前絶後セッティング - 産業人伝道者の祈り

- すべての所に聖霊の臨在を祈る
- すべてのことに祈りの答え確認
- すべての事件の中で空前絶後を発見
- 毎日、ただ、唯一性、再創造を味わうこと
- 24 残りの者の祈り (理由)、25 巡礼者の祈り (理由 x)、00 征服者の祈り (異なる理由)

聖日 1 部礼拝 幼いダビデの信仰告白 (I サム 17:42-47)	Remnant 礼拝 レムナントの覚悟 (I サム 18:6-9)	聖日 2 部礼拝 苦難を味わったダビデ (詩 23:1-6)
<p>□序論_みなさんが握った契約一つが世界を生かす</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハンナが初めには間違っただけで祈りなぞ私には子どもがいらないのか。答えにならない 2. ある日悟ったハンナーナジル人を与えてくださいと祈り 3. 契約を握ったひとりの女性の祈りが世界を変化—ここで出てきた人物がサムエル <p>△みなさんの献身が契約と合えば、世界を変化。サムエルにどんなことがあったのか。祈って大きい契約を見るようになる。この日以来、サムエルのことは一言も地に落とされない。祈りを知る者ひとりを通して、すべてのわざわいが止まった。みなさんが握った契約一つが世界を生かす</p> <p>□本論_サムエルは祈りが何か知っている。福音を知る者が祈りを知れば、事実は終わり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サムエルが祈るとき、天から与えられる答えが <ol style="list-style-type: none"> 1) 契約の箱のそばで祈って 3 回、神様の御声を聞く—御座の祝福が臨んだ 2) 契約の箱を持って行ったペリシテにずっとわざわいが!サムエルがこのとき、祈っていた—これが時空超越。みなさんひとりの祈りは、暗やみの勢力を揺るがすということを知るべき 3) サムエルが育ててミツバ運動—237 に光を放った。祈る時間は御座が動く時間、時空を超越する全世界に光が照らされる時間 2. 祈るサムエルが出てくると、地ではどんなことが起きたのか <ol style="list-style-type: none"> 1) サムエルが生きている間には戦争がなかった (I サム 7:13) 2) サムエルが生きている間には平和があった (I サム 7:14) 3) サムエルが生きている間にサムエルを見た者は神様に仕えた (I サム 7:15) <p>△本当に福音を味わう祈りを知る者は、天を動かし、地を動かす</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. この祝福がダビデに伝達—I サム 16:13 サムエルと同じように、主の霊が激しく下った <ol style="list-style-type: none"> 1) 100 年の答えを味わうことが起きた—数十篇の詩篇記録、悪霊が離れる 賛美の力、霊力と知力兼備 2) 危機を防ぐことが起きた—ペリシテとゴリヤテに勝った 3) 1000 年分の答えを残した—神殿建築がダビデを通して起きた <p>□結論_幼いダビデの告白 (I サム 17:1-47)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 怒る兄たちの前での告白 (I サム 17:29) 2. 王の前での告白 (I サム 17:31-36) 3. ゴリヤテの前での告白 (I サム 17:41-49) 4. 勝利以降の告白 (I サム 17:55-58) <p>△最近、本部で多くのことを変えているが、未来を見るべき。神様が私たちになぜここに送られたのか。未来を見るべき。神様は驚くべき働きを与えられ。何よりこの祈りの力を回復すべき。誰でも答えを受けることができる。</p>	<p>△Remnant は、これから長く生きていかなければならないので、重要な覚悟が必要。答えと関係なく祈ることが祈りだ。聖書を詳しく見るほど、神様が私とともにおられることが祈りで、他の条件があるのではない。ダビデはこの祈りをした</p> <p>□序論_羊飼い生活 (詩 78:70-72)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. みことば黙想—ダビデがみことば黙想をたくさんした証拠で詩篇を多く書く 2. 深い祈り—ダビデはすべての生活の中で神様に向かった深い祈りがあった 3. 賛美—ダビデは賛美の人であった 4. 最高の羊飼い—ダビデは羊一匹なくさない最高の羊飼いであった 5. 王—このとき、すでに神様はダビデを王として用いる決意されていた <p>□本論_これだけしていたが三つの時刻表が来た</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事件—ダビデが用いられるしかない時刻表が来た。事件が起きる <ol style="list-style-type: none"> 1) ペリシテ—イスラエルを 14 代困らせている 2) ガド出身のゴリヤテ—イスラエルを攻撃して 40 日間威嚇している 3) 幼いダビデ—想像もしない幼いダビデがゴリヤテを倒す 2. 問題—本当に祈りを知らない人々がサウルは千を打ち、ダビデは万を打ったと言う <ol style="list-style-type: none"> 1) 祈りを知らない人々の声—祈りを知っている人なら「主がゴリヤテを防いで私たちを救い出された」「神様がこれより前にサウル王の祝福によって、こういう立派な人物を準備した」と話す 2) 祈りを知らない王—サウル王がはなはだ不愉快に思った (8-9 節)。RT は問題が生じたとき、ことばと行動がそれからの答えを左右するということを知らなければならない 3) 悪霊—結局、サウル王は悪霊が入ってしまう 3. まことの答え (未来) — RT の過去、今日は未来のためのもの <ol style="list-style-type: none"> 1) 青少年のときに刻印されたことは抜けない 2) 世の中に出て行ったとき、刻印されたことが根をおろす 3) 時間が経ってしまえば、元に戻すことはできない実が作られる体質になる <p>□結論_みなさんの未来は、この契約を握って通過するがどんな答えなのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題が来たとき—100 年の答えを受ける 2. 事件が来たとき—1000 年の答えを受ける 3. 福音を持つ RT の答えは—神様が永遠に残るものを与えられる <p>△RT はいつでも神の子どもと Remnant のアイデンティティを守りなさい。このアイデンティティだけ握れば良いので、そのとき霊的変化が起こる</p>	<p>□序論_神様が与えられた苦難(重要な理由がある)</p> <p>△神様が与えられた苦難を受ければ祝福を受ける。神様のための苦難なら祝福</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 契約をのがしたイスラエル—ダビデの目に見えたこと 2. ずっと攻撃するペリシテ—イスラエルはずっと苦難にあう 3. ダビデを呼ばれた—このように発見すれば、苦難が大きい祝福に変わる <p>△先に教えること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 詩 78:70-72 (ダビデが一人でいたとき、同時に二つのことを備えた) —信仰と実力/霊性と知性/祈りと羊飼いの仕事/契約と現実→同時に 2. I サム 16:1-13 (祭司であるサムエルがダビデを呼んで神様が願われることを知らせた) 3. I サム 17:1-47 (親が最も難しいとき、重要なお使いに出した) 4. I サム 18:6-9 (サウルは千を打ち、ダビデは万を打った—多くの人はここに興奮、ダビデは揺れない) 5. 詩 23:1-6 (ダビデの告白、ダビデが味わった苦難) <p>□本論_世の中に出て行く前に RT に教える三つ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. だまされないこと <ol style="list-style-type: none"> 1) 現実にだまされてはならない。 2) 人の話にだまされてはならない。 3) 悪霊の働きにだまされてはならない。 2. 味わうこと—ダビデは苦難をどのように味わったのか <ol style="list-style-type: none"> 1) I サム 19:8-10 サウル王が槍投げたのを避ける—ヨナタンとの深い友情をわかちあう 2) 刺客を送る—ダビデは自分の代わりにベッドに人形を作っておく 3) エン・ゲディの洞窟に隠れる (24 章) —洞窟に入ってきたサウル王の服のすそを切る 4) ハキラ山に逃亡 (26 章) —警護員の水さしと槍を取ってきたダビデ 5) ペリシテの地に逃亡 (27 章)—ダビデは生き残るために気遣いのように演技 3. 準備すること <ol style="list-style-type: none"> 1) 今日を未来として味わいなさい。 2) 未来を操り上げて今日を味わいなさい。 3) 神様が最も願われることを準備しなさい—神殿準備 <p>□結論_詩篇 23 篇</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主は私の羊飼い。—私の人生の主人が誰なのか。未信者は「私」と教える。このとき、サタンに 100%捕えられる 2. 必要ないこと (詩 23:1) —「主は私の羊飼い。」みな必要ないと言う 3. 必要なこと—「あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。」